

～戸越銀座商店街を守る神様～

五反田駅からわずか 5 分以内の場所にある戸越銀座商店街。観光客から地元の方たちまで愛されるこの商店街の地名「戸越」の始まりといわれている神社を訪れた。



戸越八幡神社 →大永六戊丙年（1526年）8月15日に山城国（京都府）石清水男山八幡宮の御分霊祭神の誉田別命＝ほんだわけのみことが祭られている。



左側：稲荷杜御祭神  
豊受姫命（とようけひめのみこと）  
安産祈願



右側：春日杜御祭神  
天兒屋根命（あめのこやねのみこと）  
産業繁栄の神様

社殿

社殿の中は区指定有形文化財奉納絵馬 24 面が飾られていた。中には白馬・黒馬の絵馬があり、白馬は晴れ。黒馬は雨を祈願していた。その他にも女性を尊重した絵馬もあり、女性が強いという意味をもち華麗でおしとやかな日本人女性とは違う、男性に負けない力強さが絵馬から染み出て、現代の女性像のような感じがした。

《参拝者に対する感謝の真心》

この神社を訪れる際に一番驚いたのは入った先に机とソファが神社の目の前にあったことだ。普通なら決して見られない光景だが、参拝者はリラックスした表情でその場を優雅に過ごされているように見えた。神主さんにその答えを聞いた所この神社には、「森林から光と影が織り成す憩いの神社参道を歩きお参りすれば自然と心が通い出す」という意味が込められている。つまり、静かにゆっくりと時が流れているかのように感じさせるためお茶やお菓子といった参拝者には優しいサービスがあるのだ。また、日にちによればコーヒーといった嬉しいサービスもある。

誉田別命（ほんだわけのみこと）

誉田別命、別名応神天皇。第15代天皇。  
（仲哀天皇9年12月14日—応神天皇41年2月15日）  
大分県の宇佐八幡宮を総本社として祭られている。  
なぜ、祭られているのかは未だ説明されていない。